赤十字NEWS

September 2016 Vol.916 9
http://www.jrc.or.jp

日本赤十字社
人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字新聞 編集・発行／日本赤十字社 広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL:03-3438-1311 一部20円 赤十字新聞の購読料は、社費に含まれています。

～秘話～ シーボルトと赤十字

近代医学を江戸後期の日本に広めたドイツ人医師フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト。帰国後は日本の文化や植物などをヨーロッパに紹介し、日本研究者としての名声も博しました。そんなシーボルトの息子たちは、明治10年に誕生した日本赤十字社（当時は博愛社）の創設に密接に関わっています。シーボルトと赤十字の関係をひもときます。
（2面に続く）

© Museum Fünf Kontinente

ミュンヘン五大陸博物館蔵「日本からの公開状」（部分）よりシーボルト父子（アレキサンダー）／特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」出展作品

CONTENTS

TOPICS 2
日赤創成期を支えた シーボルトの息子たち

TOPICS 3
世界21カ国で献血推進キャンペーン
「もしも世の中から A・B・Oが消えたら…」
平成28年 熊本地震災害義援金情報
災害復興支援事業
歓声と笑顔が広がった「わんぱく・元気スクール」

SPECIAL 4 5
9月1日は「防災の日」
自分は大丈夫だと思っていませんか！?
正常性バイアスの罠

AREA NEWS 6 7
徳島・東京・佐賀・山形
夏休み 子どもたちの体験イベント
神奈川・北海道・大阪・徳島・福岡・愛媛 山口・愛知・静岡・鹿児島
健康豆知識 腰痛
アンケート

WORLD 8
Q&Aで読む国際人道法 「日本人は無関係」ではありません！
連載 人道支援の現場から③
南スーダン紛争犠牲者救援事業
朝倉裕貴

今月の出会い

株式会社 ウェザーニューズ
減災プロジェクトリーダー・
気象予報士
宇野沢 達也さん

「公助」の担い手を広げていこう

気象情報会社ウェザーニューズの減災プロジェクトリーダーとして、気象や災害情報を共有するためのコンテンツ制作などを手掛ける宇野沢さん。「防災・減災の基本は自助。そのために必要な情報を発信することが私たちの仕事です」と語ります。

過去に自治体職員として4年間勤務。地域防災などを担当し、災害時に行政が果たす役割とその限界についても熟知しています。「行政による公助は公平が前提なので、それが足かせになることも。また、大規模災害では行政機能のマヒもあり得ます。30年も昔のことですが、私がいた部署も台風被害でお手上げ状態になったことがありました」

これらの経験を踏まえ、公助の担い手を「行政」から「ボランティアを含めたパブリック」に拡大することを提唱しています。熊本地震では、避難所での被災者ニーズと届けられる支援物資の間に生じたミスマッチを一般ボランティアがSNSを駆使して解消する例もありましたが、こうした力を公助として位置づけるべきだと訴えます。

「そうした意味でいうと、日赤さんは災害時のパブリック代表格。ところが国民には、その活動内容が十分に知られていない。もったいないです。災害を減らす輪を協働して広げていきたいと思っています」

PROFILE

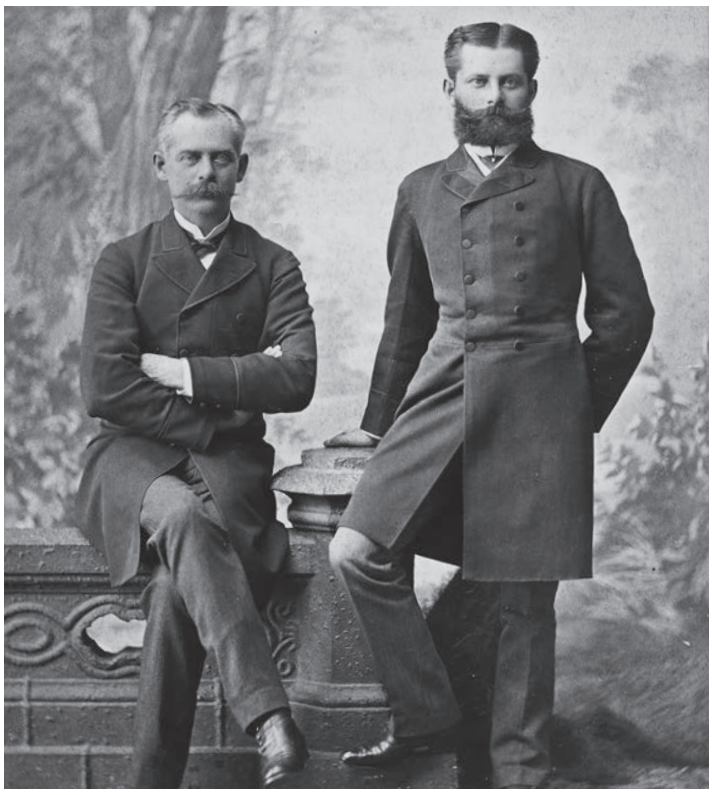
地方自治体防災担当職員を経て1993年株式会社ウェザーニューズに入社。「明るく、楽しく、真剣に」をコンセプトに、参加と共有による新しい防災・減災の仕組み作りを進めている。また、同社が運営する天気専門番組SOLiVE24（ソライブ24）では防災・減災専門解説を行っている。

～秘話～先駆者たち The History

日赤創成期を支えたシーボルトの息子たち

江戸後期に来日し、西欧の進んだ医学を日本に広めたドイツ人医師フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト（1796～1866）。その没後150年の今年は、シーボルト展が各地で開催されます。実は、このシーボルトの2人の息子たちは幕末～明治にかけて来日し、日本赤十字社の黎明期に社員として活動。日本のジュネーブ条約※加入に奔走したり、女性救護員の採用を提言するなど、その功績は現代にも引き継がれています。

※1864年につくられた最初の国際人道法。病院や医療従事者への攻撃を禁止し、攻撃対象から区別する標章として赤十字マークを制定しました。本紙8ページもご覧ください



明治3年、日本政府に正式に雇われたアレキサンダー（写真左）は、欧米との不平等条約是正外交交渉などでも活躍、明治43年には日本政府への奉職40年に際し、勲一等瑞宝章を授与しています。弟のハインリッヒ（写真右）は父の日本研究を引き継ぎ、遺跡発掘など考古学分野で多くの功績を残しました

パリ～ウィーン万博 赤十字との出会い

父親であるフィリップ・シーボルトは1823年、オランダ軍の軍医として長崎に着任。町内に鳴滝塾を開き、日本人に西洋医学を教えるなど、幕府からも信頼を得ていました。しかし、持ち出しが禁じられていた日本地図を収集したことが発覚し、1829年に国外追放されてしまいます。「シーボルト事件」です。

ドイツ帰国後、シーボルトは3男2女に恵まれます。その長男と次男がアレキサンダー（1846～1911）とハインリッヒ（1852～1908）です。

兄アレキサンダーは、父フィリップの日本追放令が解除された翌年の1859年、父親と一緒に来日。英国公使館の通訳として、生麦事件や下関戦争の交渉に立ち会いました。そして1867年、21歳の時に、幕府の通訳としてパリ万博に同行したのです。

この万博には、後に日赤の前身となる博愛社を創設した佐野常民も佐賀藩代表として参加。同万博会場の赤十字展示館に足を運んだことで赤十字の知見を得たといわれています。

特別展「よみがえれ！ シーボルトの日本博物館」は江戸東京博物館（9月13～11月6日）をはじめ、長崎、名古屋、大阪で開催

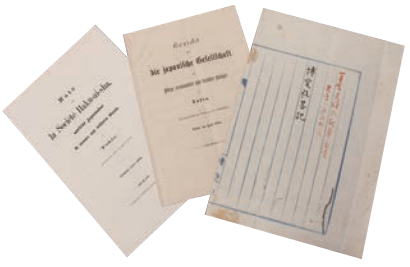
維新後の1873年、常民は日本代表の事務副総裁としてウィーン万博に参加していますが、ここでもアレキサンダーは展示・出品の選定に弟のハインリッヒと一緒に関わり、通訳として常民に随行しています。

これらの万博でシーボルト兄弟が常民へどんな働きかけをしたのかは定かではありませんが、日赤の第4代社長を務めた石黒忠悳（ただのり）は「佐野伯（爵）が博愛社の創立を思い立つに至ったのも、シーボルト男（爵＝アレキサンダー）から欧州における赤十字社を聞いたのが、たしかに一つの動機に」と書き残しています。

女性救護員の活用を提言 弟・ハインリッヒ

博愛社は明治10（1877）年、西南戦争での救護活動を機に設立されますが、この時、会の規則の作成に協力したのがアレキサンダーでした。諸外国の赤十字組織の規則を翻訳。常民らに提供したのです。

また、明治13年1月には弟ハインリッヒが、翌月に兄アレキサンダーが博愛社に社員として加入しています。ハインリッヒは同年5月に開催された社員総会の演説で「女性の看護能力は優れており、欧州の赤十字では多くの女性が病院で負傷者の看護活動を行っている」ことを紹介。日赤が明治23年から女性救護員（看護師）養成を始める一つのきっかけになったといわれています。



博覧会で配布された「博愛社略記」

ジュネーブ条約加入の立役者 兄・アレキサンダー

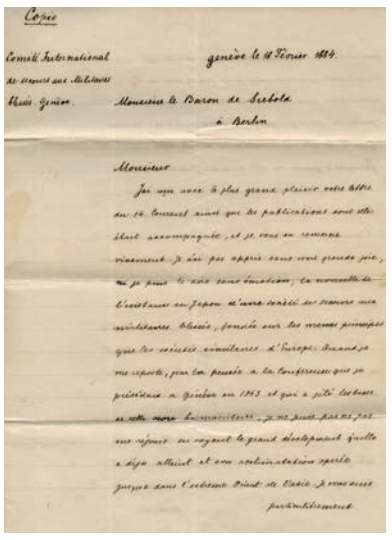
日本政府が明治19（1886）年にジュネーブ条約に加入したことを受け、博愛社は翌明治20年に「日本赤十字社」に名称を変更しましたが、ここでもアレキサンダーは条約加入をめぐって奔走しています。

遡ること4年。明治16年にドイツで「衛生、救難法に関する博覧会」が開催されることになり、内務省職員が派遣されたのですが、常民はドイツ滞在中のアレキサンダーにこの職員を補佐して、①ジュネーブ条約加入条件などの調査、②日本の博愛社活動を各国へ周知――することなどを依頼しました。

アレキサンダーは、日本語で書かれた「博愛社略記」をドイツ語とフランス語に翻訳して、博覧会の会議参加者に配布。また、赤十字国際委員会（ICRC）に書簡を送り、モワニエ総裁から「アジアの一番端の国で赤十字が誕生することはたいへん喜ばしい」との返信を得ました。

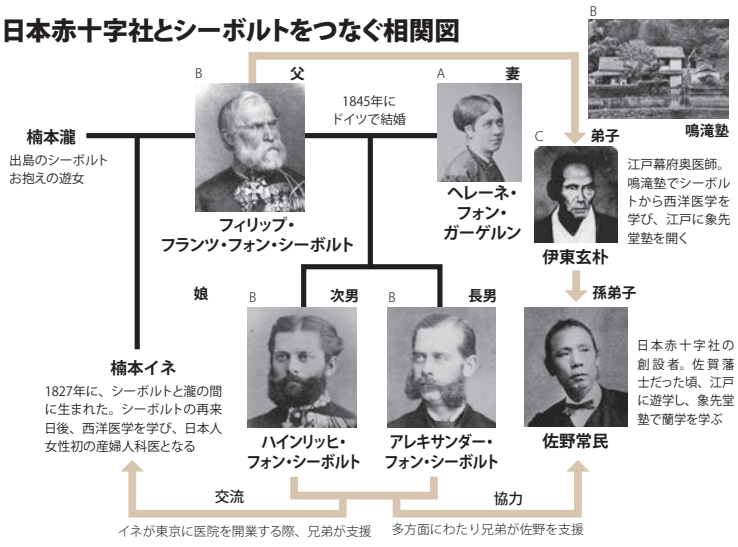
アレキサンダーからの報告を受けた常民は明治17年、ジュネーブ条約加盟の建議書を政府に提出。それから1年半余りが過ぎた明治19年、日本政府はジュネーブ条約を承認し、条約加盟を決定したのです。

明治政府がジュネーブ条約の内容を軍に周知する目的で作成した「赤十字条約解釈」に関しても、アレキサンダーの協力を得て編集されました。これらの功績によりアレキサンダーは明治22年、日赤から有功章が贈られています。



日赤本社に保管されているモワニエ総裁からアレキサンダーに送られた書簡（コピー）

日本赤十字社とシーボルトをつなぐ相関図



いずれも部分、A：Siebold Family Collection, Burg Brandenstein, Germany　B：シーボルト記念館所蔵　C：伊東栄著「伊藤玄朴伝」より

広告

推薦❖近衛忠煇氏
日本赤十字社社長
国際赤十字・赤新月社連盟会長

戦争と看護婦

川嶋みどり
日本赤十字看護大学名誉教授
川原由佳里
日本赤十字看護大学准教授
山崎裕二
日本赤十字看護大学教授
吉川龍子
元日本赤十字看護大学司書

四六判・上製・286頁　定価：本体2200円＋税

看護婦たちが命をかけて救護活動をした史実を、多くのインタビューと資料によって、明らかにする。

大戦中、日本赤十字社が派遣した救護員は、男性兵士と同様に戦時召集状を受け取り、海外へ進出した日本軍の病院や病院船で働き、いのちや暴力の危険にさらされる激務についたのです。戦後明らかになったことは、厳しく悲惨な状況が彼女らの身にも襲いかかったことでした。日本赤十字社に保管されている九六〇にのぼる救護班の活動記録と元救護看護婦への聞き書きによって、戦争の現実を記しました。

※ご注文は書店、または小社へ直接お申し込みください。

国書刊行会
〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15
TEL03-5970-7421 FAX03-5970-7427

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

世界21カ国で献血推進キャンペーン
「もしも世の中からA・B・Oが消えたら……」

血液型で使われる「A」「B」「O」。この3文字を身の回りから消してしまうことで、献血者がいなくなった社会を想像してもらう献血推進キャンペーン「MISSING TYPE」（通称）が8月15日から21日まで世界21カ国で取り組まれました。

同キャンペーンは昨年6月、イギリスで血液事業を行う「国民保健サービス」が1千以上の企業や団体の協力を得て実施したのが始まり。献血登録者が前年の3倍に増えるなどの効果があったことから、今年は世界各国に取り組みが広がりました。

10～20代の献血者が15年前の半数以下に減少している日本ですが、キャンペーンに参加した国や地域も同様に献血離れが深刻。今回の取り組みにより、将来を担う若い世代を中心にした各層に献血理解が広がることが期待されています。

日本では、東京都港区にある日本赤十字社本社周辺の企業や団体、店舗などが協力。看板などの企業ロゴからABOの文字を消した画像が特設サイトに掲載されました。参加企業の東京タワーの担当者は、「献血の重要性を重んじて、より多くの人に伝えたいという思いで賛同しました。鮮血と同じ色の赤い東京タワーから発信しています」とコメント。ツイッター上には、自身のアカウント名からA・B・Oの文字を消す人も現れるなど、反響が広がりました。

Oの文字が消えた東京タワーエレベーター乗り場

Google日本法人をはじめ、Niantic Japan、モスバーガー、シアトルズベストコーヒー、タツノコプロなどが企業ロゴや店舗看板写真に加工修正を加えた画像をネット上に投稿

平成28年熊本地震災害

2017年3月31日（金）まで、義援金の受付を行っております。

引き続き、皆さまのご支援を宜しくお願い申し上げます。

義援金の協力方法

【郵便振替（ゆうちょ銀行・郵便局）】
口座記号番号　00130-4-265072
口座加入者名　日赤平成28年熊本地震災害義援金

※ゆうちょ銀行・郵便局の窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料は免除されます

※ゆうちょ銀行の振込用紙の半券は、受領証の代わりとなり、「免税証明書」として寄附金控除申請の際にご利用いただけます

※その他、銀行振込および各都道府県支部でも受け付けています。詳しくは下記ホームページをご覧ください

義援金の受付・送金状況

【受付】250億6,253万7,812円
（2016年8月24日現在）
【送金】242億8,670万1,599円
（2016年8月25日現在）

※日本赤十字社にお寄せいただいた「義援金」は、手数料などはいただくことなく全額が被災県に設置された義援金配分委員会を通じて、被災者に届けられております

※関連事務費については、活動資金（日赤を支援くださる方がたからの会費や寄付金）により対応しております

日本赤十字社ホームページ（http://www.jrc.or.jp）

災害復興支援事業

「わんぱく・元気スクール」
自然と友情が育む笑顔は100点満点！

「冒険ゲームでみんなと協力したよ！」「友達がいっぱいできた！」――東日本大震災で被災した子どもたちを対象にした「わんぱく・元気スクール」が7月26～28日、国立花山青少年自然の家（宮城県栗原市）で開かれ、小学4～6年生の児童98人と青少年赤十字（JRC）の高校生ボランティアリーダー24人が参加しました。震災後、夏休みに継続して行っている事業で、今年で5年目。自然の中で元気いっぱい過ごした子どもたちに、大きな歓声と笑顔が広がりました。

同スクールは、震災で心に深い傷を負った子どもたちに、自然体験や仲間との共同生活体験を通じて元気を取り戻してもらおうと、宮城県支部が主催したもの。JRCの高校生ボランティアリーダーと触れ合うことで、小学生の参加者に赤十字の奉仕の心や人道的価値観を学んでもらうのも目的です。

子どもたちは、丸太切りや目隠しで歩く体験などにチャレンジする冒険ゲームで競い合ったり、ナイトハイク、キャンドルサービスなどで交流を深めました。

参加児童からは「全部楽しかった。来年も参加したい」「高校生に助けてもらい、とても楽しい3日間になった」「赤十字にまつわるクイズなども勉強になった」など元気いっぱいの感想が寄せられました。

ボランティアリーダーの一人は「わんぱく・元気スクールを通して私自身もたくさんのことを学びました。〝気づき、考え、行動する〟。私は気づいたこと、考えたことを行動に移すのが苦手なのですが、今回、小学生の意見を尊重しつつ、自分の考えを行動に移す大切さを実感しました」とわんぱく・元気スクールに参加できた喜びを笑顔で語りました。

暗闇の中でのハイキングはドキドキだけど、仲間がいるから大丈夫

力を合わせれば、太い丸太もこの通り！

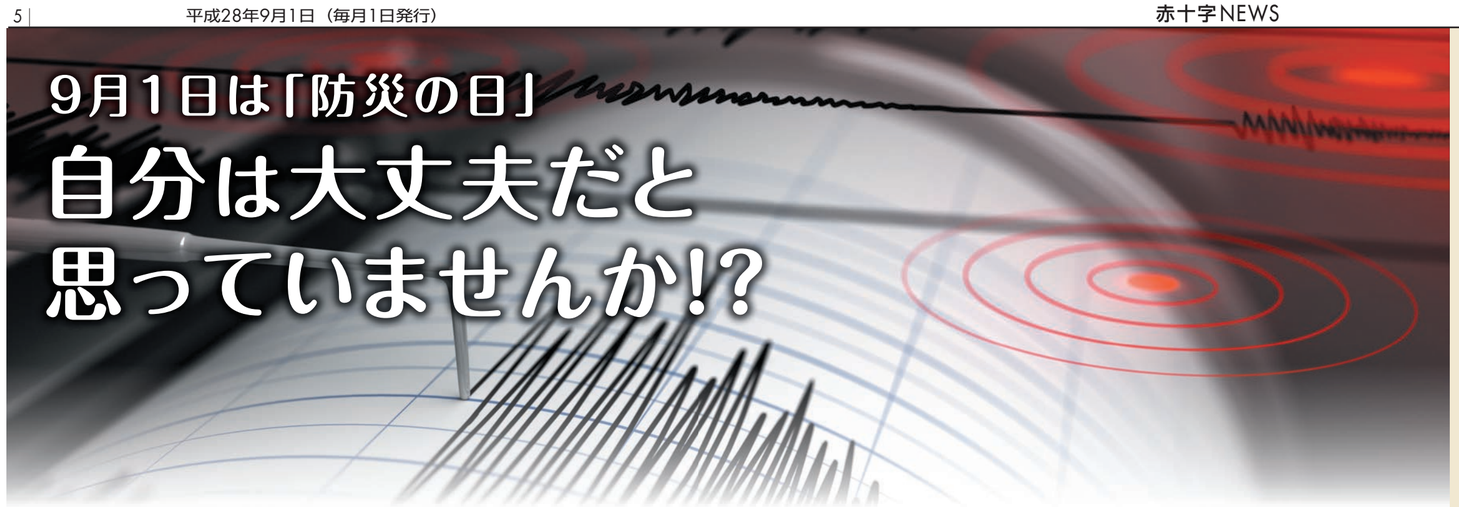
広告

社会福祉法人黎明会（公社）全国有料老人ホーム協会正会員
介護付有料老人ホーム
熱海 ゆとりあの郷
雄大な眺望と温暖な風土のもと、心豊かに暮らす…
「熱海ゆとりあの郷」には、ほんものの豊かさと、心の安らぎがあります

特別見学会の日程
9月 7日（水）、16日（金）、28日（水）
10月 12日（水）、21日（金）、27日（木）

熱海ゆとりあの郷に住まう魅力
歴史ある社会福祉法人が経営母体
温暖な気候 必見の眺望
24時間365日 医師・看護師が常駐
自慢の温泉
暮らしの多様なサービス
安心の「終のすみか」

熱海ゆとりあの郷「東京入居相談室」
〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社ビル東館2階
検索 熱海 ゆとりあ ホームページ http://www.yutoria.net
見学の申込みや問い合わせは、下記フリーダイヤルまで。
フリーダイヤル 0120-058-211 受付時間／9時～17時 月曜～金曜
●所在地／〒413-0038 静岡県熱海市西熱海町1丁目24番1号 TEL.0557-81-2322／FAX.0557-82-5260
●交通／新幹線・東海道本線熱海駅下車 熱海駅から専用マイクロバス運行（約15分）●類型／介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）●居住の権利形態／利用権方式●利用料の支払い方式／一時金方式●入居時の要件／入居時自立●介護保険／静岡県指定介護保険特定施設（一般型特定施設）・介護予防特定施設●介護居室区分／全室個室●一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制／2.5：1　以上



9月1日は「防災の日」

自分は大丈夫だと思っていませんか!?

東日本大震災以降、地震活動期に入っていると指摘されている日本列島。今年４月の熊本地震は、大地震がいつどこで発生しても不思議でないことを示したものといえます。しかしながら個人・家庭レベルで、実際に防災・減災対策は十分にされているでしょうか。地震災害から身を守るためにどんな心構えが必要なのか、そして準備はどこから手を付けたらいいのか、基本のキをまとめました。

防災対策

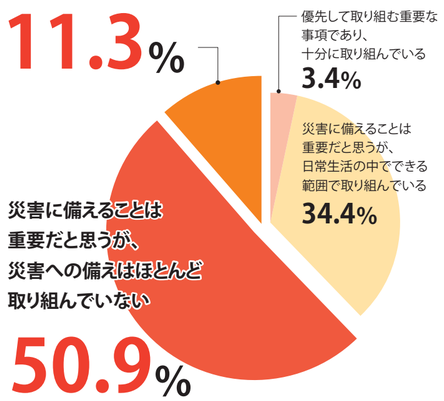
6割以上が「取り組んでいません」

「大地震などの災害に備えて、自宅や地域で準備を進めていますか?」。そんな質問に胸を張って「イエス」と答えられるでしょうか。

内閣府は今年２月、全国の15歳以上の男女１万人を対象に防災に関する意識や活動についての調査を実施。自分が住んでいる地域に将来（30年程度）、大災害が発生する可能性について63%の人が「ほぼ確実に発生する」「可能性が大きい」と回答しました。こうした災害危機意識は、太平洋側を中心にした地域で７割を超えているのに対し、北海道や中部地方、日本海側の地域では半数を切っていました。

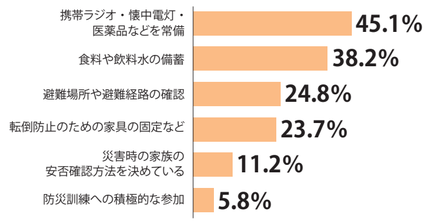
一方、災害への備えには6割以上が取り組んでいないと回答。理由は「時間がかかる」「コストがかかる」「機会がない」「情報がない」「身近な問題と感じていない」などでした。

■日常生活での災害への備え
——「十分に取り組んでいる」は 3.4%

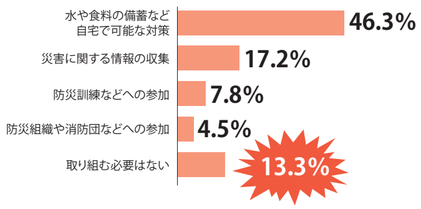


内閣府防災担当「日常生活における防災に関する意識や活動についての調査結果（概要）」より

■災害に備えた日頃の取り組み（抜粋）
——防災訓練参加は 5.8%！



■今後取り組みたい防災対策
——「取り組む必要はない」も 13.3%



災害認知と行動のズレを知り、対策に生かそう

諏訪赤十字病院　医療技術課　臨床心理士　森光　玲雄

正常性バイアスの罠

避難の遅れを招く「正常性バイアス」

災害情報に関する認知と行動のズレが被害拡大につながることが東日本大震災以降、注目されています。その一つが「正常性バイアス」という心の動きです。

「バイアス」とは、思い込みや偏見を意味していますが、何かトラブルがあった際に「たいしたことじゃない」と思い込むことで平静を保とうとするのは、私たちの誰もが持っているいわば心の安定化機能です。もし、正常性バイアスの働きがなければ、私たちは日常生活であれもこれも心配になって身が持ちません。ところが、災害時や緊急時にはこの正常性バイアスが、避難行動の遅れにつながり、被害拡大を招いてしまいます。

東日本大震災では、津波警報を聞いていたのに「まさかここまでは来ないだろう」と避難しなかった人、「チリ地震でもここまでは津波が来なかった」と安心していた人、テレビで津波のニュースを見ていたにも関わらず、避難しなかった人もいたほどです。また、登山者ら58人が亡くなった２年前の御嶽山噴火の際にも、噴火の様子をカメラで撮影していて逃げ遅れた方が大勢いたことが明らかになっています。

不都合な情報のすり替えが招く防災の遅れ

なかなか防災に取り組めない人が多いのも、心の働きと関係しています。少し難しい言葉ですが「認知的不協和」というメカニズムにより、不都合な情報（＝防災の必要性）を心理的にすり替えてしまう心の動きが近年明らかになってきています。

人は、頭の中に矛盾した考えを同時に持つことを本来得意としません。矛盾を認知すると、心の中がもやもやしたり、不愉快になったりする。これが認知的不協和です。この状態を解消するため、受け入れ難い情報を都合よく解釈し、心理的な安定を保とうとします。このメカニズムが防災対策の遅れの一因と考えられています。

例えば、南海トラフ地震は30年以内に70%の確率で起きるとされています。「対策が必要」とは理解していても、「住宅の耐震化工事にはお金がかかるし、防災備品を揃えるのも大変」という場合。「私が生きている間くらいは大丈夫」「近所の家もそんなに準備していない」といった理屈で、何もしないことを合理化してしまうのです。

今年４月の熊本地震で震度７の揺れに襲われた益城町の方がたにお話を伺いましたが、多くの方が「まさかこの町で地震なんて思ってもいなかった」とおっしゃっておられました。実際には、既知の断層帯の上に暮らしているのにも関わらず、住民の意識までリスク情報が浸透していなかったのかもしれません。

これは益城町に限った話ではありません。全国に同様の人びとが無数にいるはずです。

最初はスモールステップから

災害心理学によると、災害に見舞われたとき、７～８割の人は呆然としてどう行動していいのか分からなくなり、即座に適切な行動が取れるのは１割程度といわれています。

避難訓練が大切な理由はこれなのです。災害時の避難行動を体に覚え込ませ、考える前に動けるようにしておく。「正常性バイアス」による逃げ後れを防止する上でも、機械的な訓練を重ね、条件反射で動けるようにしておくことが大切です。

また、防災準備も普段の行動と同じで「一度に全部やらなければ」と思うと腰が引けてしまいます。「大変だ」「面倒くさい」というコスト意識が生まれると、認知的不協和を解消するために、「まあきっと大丈夫さ」と高をくくって何もしない方向に流されてしまいがちです。

そこで、スモールステップ＝小さいことから手をつけてみる作戦が役立ちます。最初はペットボトルの水だけ、防災用具を入れるリュックサックだけでもいい。そうやって防災のハードルを低くすることで、認知的不協和の壁を少しずつ超えていく。それができたら次の一歩というように、備えを徐々に拡大していってほしいと思っています。

備えのソ

災害時の飲料水 1人1日3リットル　3日分を用意

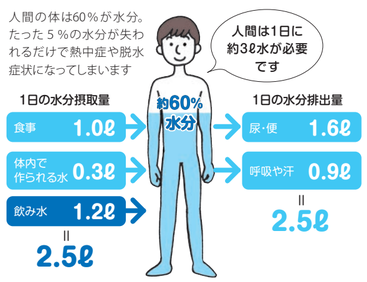
3リットル——人間が１日に体から排出する水は「呼吸や発汗」「尿や便」だけで約２.５リットル。食事や飲み水で最低限、その補給をしなければ生命を維持できません。夏の暑い時期はもちろん、災害後にがれき撤去作業や家の中の片づけなどをすれば、もっと大量の飲料水が必要になることもあります。

3日間——大規模災害時には、電気やガス、水道などのライフラインがストップ。行政機関も被災による混乱、また救命・救助活動を優先せざるを得ないため、被災者へ飲料水などの支援物資配布までに３日程度の時間がかかる可能性が指摘されています。しかし、東日本大震災のような巨大災害時には行政機能が完全にマヒしてしまうため、７日程度の備蓄を推奨する意見も出されています。

簡単

備蓄法——３日分で１人９リットル、４人家族なら36リットル、と聞くと大変そうですが、２リットルのペットボトルなら３ケース（18本）です。４カ月ごとに１ケースずつ購入し、消費期限（１年）が切れそうになったものから順に調理などに使用。6本使いきったら、１ケース買い足すようにします。なおペットボトルへの汲み置きは、３日程度しかもたないので、都度汲み直しましょう。浄水器を使った水や煮沸した水は、塩素が除去されてしまい保存に適しません。

生活用水——飲料水とは別に、トイレを流したり、洗濯や掃除、物を洗ったり、体を拭いたりする生活用水も必要です。家庭用の風呂には180リットル以上の水が入ります。ポリタンクには20リットル近くの水が入りますので、日頃から汲み置きしておきましょう。



東日本大震災では行政による対応が追いつかず、日赤が避難所に簡易水道を設置した例も

豆知識

こんな場所で地震に遭ったら?

◆電車内　強い揺れを感知すると緊急停止するので、吊り革や手すりにつかまり安全を確保します。避難は乗務員の指示に従うこと。地下鉄の場合、線路に高圧電流が流れているので、線路に勝手に下りないように。

◆地下　一般的に地下は地上に比べて揺れが小さく安心ですが、火災などの危険も。地下街の非常口は60メートル置きに設置されているので、一カ所にかたまらず落ち着いて避難。停電時の避難は壁づたいに。

◆運転中　急停車は危険です。ハザードランプを点灯して減速し、左に寄せて停車。揺れが収まった後、可能なら広場か駐車場に移動しましょう。避難時はロックをせず、鍵はつけたまま。貴重品と車検証は持って出ます。

◆繁華街　落下物から身を守るため、公園などの安全な場所へ。近くに見当たらない場合は、耐震基準が確保されている高層ビルなどへ逃げ込みます。人ごみの中でのパニックは極めて危険なので冷静な行動を。

◆コンビニ・スーパー　展示商品や棚が倒れてくる危険が大。冷蔵品のケースや窓ガラスの飛散にも注意が必要です。商品を入れるカゴやバッグで頭部を保護するとともに、柱の側などより安全な場所に移動し、身を守ります。

イザ受講

「赤十字防災啓発プログラム」あなたの地域でも受講できます

災害から身を守るための基礎知識や安全に避難する方法などを学べる防災講座が「赤十字防災啓発プログラム／地域で考える災害時の備え」です。各都道府県支部を単位に普及が進められています。

同プログラムは、非常持ち出し品の確認などを行う「災害への備え」や避難所生活の注意をまとめた「避難所とくらし」、災害時の高齢者支援などを学ぶ「体験プログラム」など７つのメニューが盛り込まれており、講座を開催する町会・自治会などの希望に合わせて自由に受講内容を組み合わせられるのが特色。地域在住の赤十字ボランティア（奉仕団・防災ボランティア）や赤十字講習指導員らが講師を務めます。

お問い合わせは各都道府県支部まで

AREA NEWS

海でも！ 山でも！ 頑張る子どもたちが 夏休みの主人公！

日本赤十字社の各都道府県支部や施設は、今年の夏も全国各地で子どもたちの体験イベントを開催。弾ける笑顔で頑張る一人一人の学習や発見、感動体験をサポートしました。

防災セミナー　災害への備えを親子で勉強

大阪府支部の「親と子の防災セミナー」（７月23日）には、33組73人の親子が参加。炊き出しや身近なものを使った応急手当などを体験した子どもたちは「学んだことを生かして、困っている人を助けたい」。

大阪赤十字病院は小学校高学年とその保護者を対象に「災育」と銘打った防災体験セミナーを８月７日に開催。自衛隊など関係機関の協力も得たもので、今年は661人の親子が参加しました。

JRCトレーニングセンター　合言葉は「気づき、考え、実行する」

集団生活や体験学習を通じて、相手を思いやる心を育み、「気づき、考え、実行する」姿勢を養うのが青少年赤十字（JRC）のリーダーシップ・トレーニングセンター（トレセン）です。

北海道支部は道内４カ所で開催。救急法体験、野外での炊飯、ダンボールを使った避難所の仕切りやテーブル製作など、参加した121人の児童・生徒は普段学校ではできない体験に目を輝かせていました。

64人の小・中・高校生が参加した神奈川県支部のトレセン。野外のフィールドワークなどを通じて、「前より積極的になることができた。学校でも積極的に活動したい」「勇気をもって行動したい」の声。

国際交流　世界の友達と仲良くするぞ！

モンゴル青少年赤十字メンバー８人は愛知県支部の招きで来日。７月６日から一週間、愛知県のJRCメンバーと活動交流をしたほか、大相撲観戦などを通じて日本文化への理解を深めました。

山口県支部は、大韓赤十字社蔚山広域市支社との国際交流事業を今年度からスタート！８月２日から７日まで同支社の中学・高校生メンバーら９人が来日し、県内中学・高校生メンバーと交流。

「国際理解・親善」はJRCの実践目標の一つ。その具体的な取り組みとして海外のメンバーを招いたり、日本のJRCメンバーを海外派遣するのが国際交流事業です。異文化への理解を深めた子どもたちは、赤十字の世界ネットワークの明日の担い手です。

中学生医師体験講座　お医者さんになってみた！

高松赤十字病院は７月30日、県内の中学生を対象に医師体験講座を開催。鶏肉を使った手術や模擬検査などに挑戦した16人の中には「学校と違って眠くならなかった」という子も。

海や川、プールで遊ぶ機会が多くなる夏休み。心配なのは水の事故です。突然の落水などいざというときに備え、子どもたち自身が自らのいのちを守るための知識と技術を学ぶ講習を各地で開催しました。

着衣泳講習　上を向いて浮かべたよ！

静岡県支部は７月、県内14小学校で着衣泳講習を開催。４～６年生児童1125人が参加しました。最初は「重い」「泳ぎにくい」と驚く子どももいましたが、安全に浮かぶことの大切さとその方法を知って目からウロコでした。

鹿児島県支部が桜島の海水浴場で「親子で体験！海の安全教室」を開催。16組38人の親子が参加し、身近なものを使って浮かんだり、おぼれた人を安全に救助する方法などを体験しました。

親子血液ゼミナール　「血液の不思議を発見できた」

福岡県赤十字血液センターは小学生親子を対象にした献血セミナーを開催。医師役、看護師役、献血者役に分かれて献血を擬似体験した子どもたちは「大きくなったら献血するよ」「医者や看護師になりたい」と力強い声。

「こんな球が体の中で仕事してるなんて不思議！」。徳島県赤十字血液センターが開いた小学生親子を対象にした血液ゼミナールでは、赤血球や白血球を顕微鏡で見た子どもたちから驚きの声が。採血針を人工腕に刺す体験も。

東京都支部で格闘ゲーム大会！　チャリティー募金＆献血も

東京都

８月６日、東京都支部（新宿区）で「第６回TOPANGAチャリティーカップ」が開催されました。参加した248チーム、約1000人の参加者に赤十字への理解と関心をより広げるために社屋を提供。AED（自動体外式除細動器）や応急手当の体験コーナー、献血の呼びかけも実施しました。株式会社TOPANGA主催のこの大会は、格闘ゲーム『ストリートファイター5』での5対5のチーム戦方式。参加費は東京都支部の活動資金として全額寄付されます。当日は58人の参加者が献血協力（48人が採血）。会場では募金も行われ、参加費と合わせて110万円を超える寄付が寄せられました。

鍛え上げた"指先"から繰り出される必殺技！　同日開幕したリオ五輪にも負けない熱戦に会場はヒートアップ！

特別支援学校生徒から献血者に花のプレゼント！

徳島県

「献血でたくさんの人が助かる。大好きな花を渡せてうれしい」――特別支援学校徳島県立みなと高等学園の生徒６人が６月25日から２日間、学園で育てた花（３鉢セット）を献血者にプレゼントしました。

準備した160セットの花は全て献血者の笑顔とともに持ち帰られました。次回の花のプレゼントは12月の予定

同学園では授業の一環で花の生産をしており、苦心しながら育てた花は、地域住民にもプレゼントされ喜ばれています。生徒６人は、徳島駅前などで献血の協力を呼び掛けたほか、献血者に育てた花を手渡しするなど大活躍。献血者からは「若者の頑張りを見ているとこれからも献血を頑張らないと！という気になります」といった嬉しい感想も寄せられました。

知ってて良かった！

日赤のドクター&ナースが教える健康豆知識

㉗ 腰痛の85%は原因不明
怖い腰痛もあるので早めの医療機関受診を！

武蔵野赤十字病院　副院長・整形外科部長　山崎隆志

腰痛のほとんどは、背骨と背骨をつなぐ椎間板や関節、その周辺の筋肉などの問題で発生しますが、実はこのタイプの腰痛は原因が特定できないことが多くあります。検査をしても明確な診断がつけられず、「非特異的腰痛」と呼ばれています。腰痛の85%がこれに該当します。「ぎっくり腰」や、精神的ストレスなどによる「心因性腰痛」も、診断名は便宜的なものにすぎず、非特異的腰痛の一種です。

腰周辺の動作に関する運動器（脊椎など）の不具合と関係していると、体を動かしたときに痛みが生じます。痛み止めの処方やコルセット、温熱療法、マッサージなどの理学療法で痛みを軽減させることが主な治療になりますが、積極的な治療を行わなくても3日ほどで痛みは徐々に和らいでゆき、自然治癒することがほとんどです。

このタイプの腰痛を防ぐには、背骨や椎間板に負担をかけないことが大切です。同じ姿勢を続けていると、腰の同じ箇所に負担がかかるので、時々歩いたり、ストレッチなどで体をほぐし、腰を動かしましょう。また、無理な姿勢で重いものを持ち上げるのも禁物です。

一方、検査や症状から原因が突き止められる腰痛=特異的腰痛もあります。背骨に菌が入る化膿性脊椎炎、脊椎腫瘍、椎間板ヘルニア、骨折などです。骨の弱い高齢者の場合、転倒などの怪我がなくとも普段の生活中に背骨が圧迫骨折していることも珍しくありません。内臓疾病が腰痛の原因となることもあります。九重親方（千代の富士関）の死因となった膵臓がん、腎臓がん、子宮筋腫、尿管結石など背中側にある内臓の病気の可能性も考えられます。内臓由来の腰痛は動いたときより安静時に痛みが強いのが特徴です。

安静にしていても激しい痛みが3日以上続くときは、こうした隠れた病気やけがを疑ってみてください。また、腰痛時に発熱の症状がある場合は、化膿性脊椎炎の可能性があります。腰と同時に脚が痛いときには神経が障害されていると考えられます。いずれも医療機関の受診をお勧めします。

畑仕事など無理な姿勢をとった仕事後の腰痛は、腰の筋肉に負荷がかかったことで発生する正常な反応=筋肉痛。心配する必要はありません

武蔵野赤十字病院
〒180-0023
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111（代表）

唐津赤十字病院が新築移転　ヘリポート完備でドクターヘリもOK

佐賀県

講堂を災害時の医療スペースとして整備するなど、災害拠点病院および二次被ばく医療機関としての機能も強化されました

唐津赤十字病院（佐賀県唐津市）が８月１日、同市内のJR西唐津駅近くに新築移転しました。新病院は免震構造の７階建てで、屋上にはドクターヘリの離発着が可能なヘリポートを新設。建物の延べ面積は２万4600平方メートルと広くなり、救急や小児、周産期医療などを中心に設備面での充実が図られています。

開院に先立って７月23日に開かれた記念式典には、佐賀県や唐津市、医療関係者など約200人が出席。志田原哲院長が「素晴らしい建物ができた。これから私たちが建物にいのちを吹き込み、安全で安心な医療を提供していきたい」とあいさつしました。

平成28年 山形県赤十字大会　名誉副総裁秋篠宮妃殿下から有功章

山形県

大会に先立ち秋篠宮妃殿下は、日新製薬株式会社荒谷工場での企業献血などを視察されました

平成28年山形県赤十字大会が７月15日、日本赤十字社名誉副総裁秋篠宮妃殿下ご臨席の下、山形県天童市で開催され、社資・業務功労を合わせ37人（個人および法人）に金色有功章が名誉副総裁より授与されました。

式典の体験発表では、JRCメンバーの県立荒砥高等学校３年丸川恵理花さんが、高齢者宅の除雪ボランティアや地域奉仕団との炊き出し訓練などの活動を報告。東日本大震災で被災し、現在も仮設住宅に暮らす宮城県女川町の遠藤康夫さんは支援を受ける立場から、震災以来続いている山形県の朝日町立朝日中学校（JRC加盟校）との交流などについて紹介しました。

プレゼント

特別展「よみがえれ！シーボルトの日本博物館」の図録を10名様にプレゼントいたします。以下のアンケート項目にお答えいただき、郵送・FAX・メール、またはウェブ上からご応募ください。

①お名前（　　）**②ご住所**（〒　　）
③電話番号（　　）**④年齢**（　　）**⑤性別**　男・女
⑥赤十字NEWSを入手された場所（　　）
⑦赤十字NEWSを読む頻度　初めて・年に数回・毎月
⑧よく読むコーナーは？
今月の出会い・トピックス・健康豆知識・特集面・エリアニュース・プレゼントコーナー・WORLD NEWS
⑨赤十字NEWSで何を知りたいですか？（複数選択可）
日赤の活動内容・赤十字ボランティアの情報や声・救急法などの講習会情報・赤十字にまつわる物語・赤十字の歴史・防災情報・健康情報・国内の人道ニーズ・国際的な人道課題・世界の被災地や紛争地、難民の状況・海外派遣員の現地レポート・献血キャンペーン情報・献血ルーム案内・被輸血者の声・血液の知識・日赤への寄付案内・日赤のイベント情報・寄付の使われ方・支援を受けた人の声・その他（　　）
⑩どんな形式の記事を好みますか？
ニュース・解説・インタビューや対談・論評・長期取材レポ・読者投稿・その他（　　）
⑪どんな形態を好みますか？　新聞・冊子・web・その他（　　）
⑫どれくらいの発行頻度を好みますか？　月刊・隔月刊・季刊・その他（　　）
⑬その他、赤十字NEWSに望むこと（　　）
⑭日ごろ読まれている新聞や雑誌（　　）

キリトリ線✂　キリトリ線✂　ハガキに貼ってお送りください

応募先●　郵　送／〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社 広報室
赤十字NEWS9月号プレゼント係
FAX／03-6679-0785
メール／koho@jrc.or.jp
（件名「赤十字NEWS9月号プレゼント係」）

ウェブ上からもアンケートにお答えいただけます
http://questant.jp/q/news_201609

応募締切●　9月26日（月）必着
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

STAND UP SUMMIT2016
復興の主人公は若者だ！
中高生や大学生が真剣議論

震災からの復興を若者が主人公になり考えるイベント「STAND UP SUMMIT2016」が８月９日、東京ビッグサイトの主催により同会場で開かれ、日本赤十字社もブースを出展。海外で起こる災害・紛争の現状や、赤十字が行う国際活動を紹介し、私たちが今どのような支援ができるのかなど国際協力のあり方をテーマに議論しました。

イベントには中・高生や大学生ら約350人が参加。日赤の多岐にわたる活動や海外の現状に驚く若者の姿も見られました。意見交換を踏まえ参加者は、海外の状況を知ることから始め、寄付などの支援活動にも力を入れていくことなどを確認しました。

日赤ブースに参加した岩手県の中学生は「日赤の活動や世界の状況を知り、改めて復興について考えるきっかけになりました。できることから始めたい」。アメリカ人の高校２年生アレックさんは「日本では未来に向けて防災に備えていることを知りました。意見交換ができてよかったです」と話しました。

予約受付中！

2017年版 赤十字カレンダー&赤十字手帳

赤十字カレンダー

支部・施設などでの活動を撮影した写真が満載。笑顔と元気をお届けするカレンダーです。

1部920円
（消費税込・送料別）
●ヘッダー綴じ壁掛けカレンダー
●B3 13枚綴り

赤十字手帳

毎年ご好評をいただいている赤十字情報の掲載されたコンパクトでスリムな手帳です。

1冊350円（消費税込・送料別）
●赤白リバーシブルカバー　●別冊赤十字便覧
●約15cm×9cm

お申込方法　以下の①～⑤のいずれかの方法でご希望商品のお申込内容をお知らせください。
●お申込方法　① FAX／03-3459-1432　② ホームページ／http://www.nisseki-service.com
③ メール／info@nisseki-service.com　④ ご来店／日本赤十字社本社1階 日赤サービス売店
⑤ お葉書／〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3　（株）日赤サービス
●お申込内容　ご希望の商品名／部数／お名前（ふりがな）／電話番号／送付先住所（郵便番号含む）
カレンダー、手帳ともに数に限りがあり、無くなり次第販売終了となります。11月下旬頃発送予定です。

詳細は（株）日赤サービスホームページにて

WORLD NEWS

今年は日本加入130年
Q&Aで読む国際人道法
「日本人は無関係」ではありません!

世界各地で相次ぐ武力衝突や組織的暴力──。日本にいる私たちには関係ない話なのでしょうか？ また、戦争や紛争下で一般市民はなすすべもなく逃げ惑わなければならないのでしょうか？ 戦争においても最低限守るべきルールは存在します。世界中どこにいても無縁ではないといっていい国際人道法。今年は、国際人道法の原点「最初のジュネーブ条約」に日本が加入して130年。なぜ、こうした国際法がつくられ、そして今、何が課題になっているのか。一緒に考えてみましょう。

国際人道法とは?～基本ルール～

1. 敵対行為に参加しないすべての人は、いかなる場合にも差別しないで人道的に待遇する。2. 交戦当事者は、常に戦闘員と一般市民（非戦闘員）を区別し、攻撃を軍事目標に限定し、一般市民とその財産を保護しなければならない。3. 投降し、敵対行為を止めた戦闘員は、殺傷してはならない。4. 交戦当事者は、互いに傷病者を収容、看護しなければならない。そのための医療要員、施設、機材等を保護する赤十字、赤新月標章を尊重、保護する。5. 捕虜、抑留者の生命、尊厳、人権の尊重と保護および家族との通信、援助を受ける権利を保障する。6. 戦闘方法や武器の使用は無制限ではなく、不必要で過度な損害や殺傷をもたらす武器は使用してはならない。7. 公正な裁判を受ける権利および拷問、体罰、残虐で品位を汚す扱いを受けない権利を保障する 。

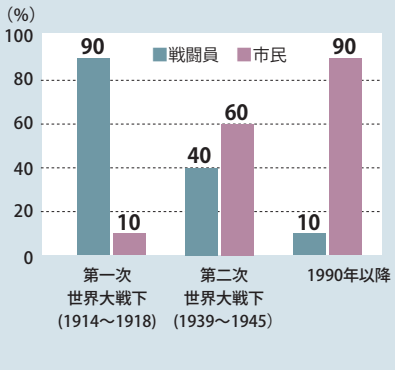
「新版　世界と日本の赤十字──世界最大の人道支援機関の活動」（桝居孝・森正尚著／東信堂）より

活動中に攻撃を受けた赤新月社の救急車

Q1 日本は戦争を放棄していますが、国際人道法を知る必要はある？
①必要ある　②必要ない

A 国際人道法は、「国民に普及させることが政府の義務」として条文化されているのが特徴です。軍人はもちろん、一般の人びと（文民）も暴力行為に関わったり、犠牲者として当事者になる可能性があるのです。そうした状況に陥る前に、平和で秩序が保たれている時にこそ、人の権利や尊厳について気を配る「人道的視点」への理解を広げていくことが求められています。正解は①。

戦争・紛争における犠牲者の割合



Q2 国連加盟国は193カ国。では、1949年のジュネーブ諸条約の国際人道法の加盟国数は？
①155　②193　③196

A 国際人道法は紛争時の世界共通ルールになっています。それにも関わらず、各地の武力紛争では、国際人道法違反が後を絶ちません。「本当に必要なの？」との疑問も出されますが、例えば交通違反がなくならないからといって“道路交通法は要らない”とはなりませんよね。速度規制や一時停止などの規則が人びとの意識を高め、交通事故を減らすのに役立っているのと同様、紛争時の明確なルールは、戦場での残虐行為や市民への攻撃といった非人道的行為を抑制する役割を果たしています。正解は③。国連加盟国を上回る196カ国です。

15歳未満の子どもを軍や武装集団に徴兵・徴用することは、国際法で禁止されています

Q3 国際人道法が攻撃を禁止し、保護の対象にしているのは？
①赤十字救護員　②宗教施設や 歴史的建造物　③相手軍の捕虜

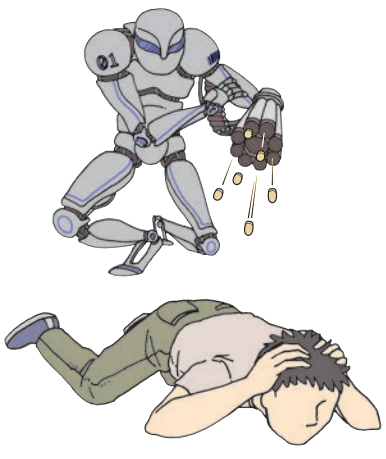
A 傷病者を救護する役割を担っている赤十字職員への攻撃は、傷病者救護を妨害するという意味で二重の国際人道法違反です。2011年から続くシリア紛争では救護活動中の赤新月スタッフやボランティアが攻撃され、これまで50人以上がいのちを落としています。文化財として保護されるべき多くの歴史的建造物や宗教施設も破壊されてしまいました。

捕虜に対しても人道的な処遇が定められており、拷問や虐待は禁じられています。答えは①②③、すべて保護対象です。

ロボットによる戦争犯罪の責任は？

人工知能（AI）を組み込んだ自律型ロボットによる国際人道法違反があった場合、その責任を負うのはロボット自身なのか、それともプログラマーなのか、あるいは部隊の責任者なのでしょうか。

手塚治虫の名著『火の鳥』には、有罪判決を下されたロボットが溶解処分されるシーンがあります。しかし、現実の世界ではその責任の所在が定まっていません。現在、国際法や軍関係者らの間で議論になっています。にも関わらず、ロボット兵器はすでに戦場へ配備されつつあり、日々進化中。こうした事態に「人を殺す決定を機械にさせるのは、究極の侮辱行為」と警鐘を鳴らす専門家もいます。ICRCはロボット兵器の開発と配備に、その開発がもたらす結果への人道的配慮から「国際人道法の順守を」と呼び掛けています。


AIを組み込んだ自律型ロボットの実用化が、人道支援活動のあり方を変えていく可能性も議論されています

人道支援の現場から 3

カメラ撮影に少し緊張ぎみの子どもたちと

朝倉 裕貴
Yuki Asakura

ICRC
南スーダン紛争犠牲者救援事業

紛争下の南スーダンでの葛藤　私を支える大きな存在

南スーダンは2011年の分離独立後も紛争が続いており、戦闘により傷を負う者、住む場所を追われる者など多くの犠牲者が存在します。赤十字国際委員会（ICRC）医療チームの看護師として、私は銃創患者の手術を介助しています。セスナやヘリコプターで国内を飛び回り、手術が必要だが物理的・経済的理由で病院に行けない患者を迎えにいく「フライトナース」の役割も担っています。

７月８日金曜日、南スーダン共和国５回目の独立記念日の前日。私は日の出前からセスナに乗り込み、銃創患者を活動地である首都ジュバの病院へ搬送しました。この日も病院はいつも通り忙しく、私も患者の処置に合流し病棟内を走り回っていました。辺りが薄暗くなり始めた頃、突然「パン、パパパパン」と乾いた銃声が響き渡りました。周囲が緊張と静寂に包まれた次の瞬間、全員がその場に身を伏せ、すべての業務を中断せざるを得ないことに。その後戦闘は激化。ICRCと南スーダン赤十字社は、ジュバにいるスタッフやボランティアの安全確保を第一に、戦況をみながら、傷病者の救援や遺体の搬送・管理、一時避難している人々への支援など、喫緊の人道ニーズへの対応を優先しました。

私たちの活動が一時的に制限されたことで多くの人が医療サービスにたどり着けず、医療者として日本では経験することのないとてもつらい局面でした。そんな私を救ってくれたのは現地の子どもたちです。紛争の続く厳しい環境の中でも、いつも輝いており、本当に素敵な表情を見せてくれます。彼らの笑顔を見ると、生後３週間で日本に置いてきた娘の姿が浮かんできます。そのたびに現地での任務を全うし、必ず生きて帰ろうと強く誓うのです。

世界中の子どもたちの明るい未来のため、今もこれからも人道支援活動に力を尽くしたいと思います。（武蔵野赤十字病院より派遣）